

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人むさし野たんぽぽ会 児童デイたんぽぽ上ノ原			
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～	令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	令和7年2月4日		～	令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じられる制作やイベント、公園や図書館などへの外出、買い物体験など、様々な活動を取り入れている。 ・同じ活動であっても、子どもたちの特性や日々の状況に応じて変化させながら、職員間で話し合った上で立案している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活により密接した活動を取り入れていく。 (例：掃除、洗濯、買い物等) ・デイ卒業後の就労を意識し、「報告、連絡、相談」等のコミュニケーションの場を活動の中に取り入れていく。
2	保護者との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の連絡帳や送迎時のお話しを通して、情報の共有に努めている。 ・保護者懇談会の開催や、保護者参加のイベントを企画することで、職員と保護者、あるいは保護者同士の交流の場を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き保護者参加のイベントを企画しながら、兄弟の参加も促していく。
3	チームアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の打ち合わせや反省会、また、毎月のケース会議で子どもたちの情報共有や支援方法の検討など、密に話し合っている。 ・個別支援計画の更新時は、様々な職員が会議に参加して意見を出し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の打ち合わせや反省会は時間が限られているため、必要に応じてケース検討会議を開催しながら、引き続きチームでの支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わり、開かれた事業運営	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日や学校の長期休暇中は、公園や児童館等の利用や地域のイベントへの参加で地域との交流を心掛けているが、平日はなかなか実施できていない状況である。 ・地域住民を招待するなどの機会がなく、閉鎖的になってしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日も可能な限り公共施設等を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。 ・地域のボランティア団体を活用しながら、近隣住民を招待するなど、開かれた事業運営を目指す。
2	情報の発信、保護者への周知	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対するマニュアルの周知は、利用契約時や保護者懇談会にて行っているが、不十分な点も見られる。 ・支援(活動)の内容やねらいが十分に伝わっていないケースがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを閲覧できるように掲示したり、必要に応じて配布したりするなど、周知方法を検討する。 ・日々の連絡帳や送迎時のお話し、通信等の発行により、活動内容やねらいについてより詳しくお伝えできるよう心掛ける。
3	人材確保、人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置にはなっているが、より充実した支援の実現のためには人材確保が求められる。 ・職員研修の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保に努めると共に、研修の機会を増やすことで専門性を高めていく。 ・必要に応じて専門職(PT、OT、ST)の助言を受けられるような環境を整備する。